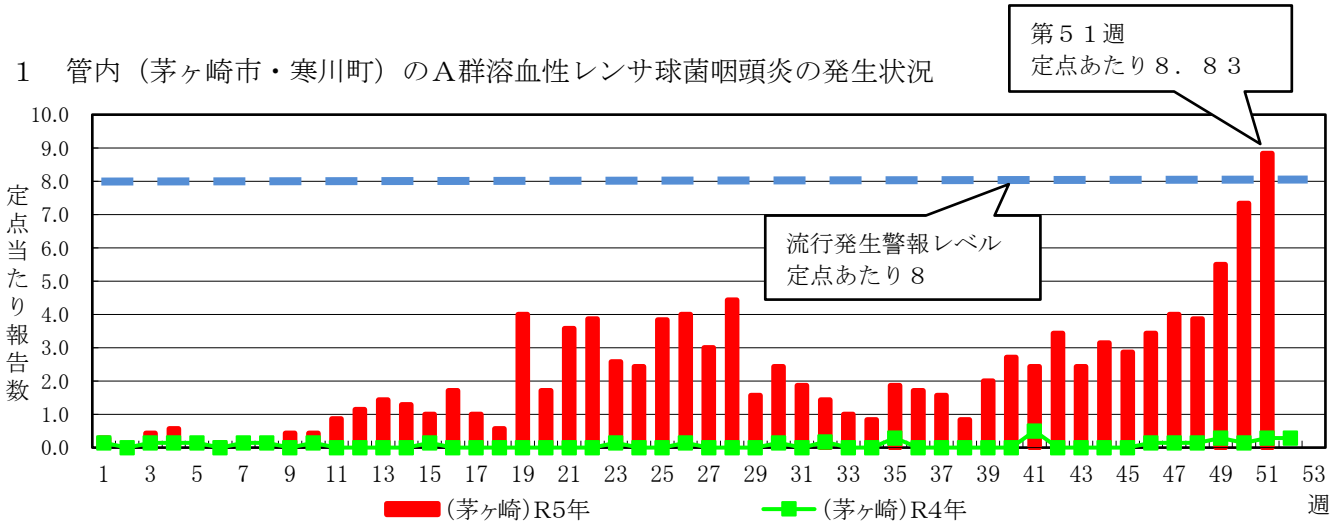
茅ヶ崎市記者発表資料
２０２３年１２月２６日
保健所保健予防課　課長　守村妙子
電話０４６７（３８）３３２１

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎流行発生警報を発表

市保健所管内（茅ヶ崎市・寒川町）では、２０２３年第５１週（１２月１８日～１２月２４日）の感染症発生動向調査によるＡ群溶血性レンサ球菌咽頭炎の発生状況が、１定点医療機関あたりの患者数が「８．８３」となり、基準値となる「８」を超えたため、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎流行発生警報を発表します。

※ 流行発生警報とは、大きな流行が発生または継続しつつあると疑われることを示します。Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎の場合は、１週間の定点医療機関あたりの患者数が８．０人を越えた場合に発表し、終息基準値の４を下回るまで継続します。

１　管内（茅ヶ崎市・寒川町）のＡ群溶血性レンサ球菌咽頭炎の発生状況



※ なお、第５１週は指定された医療機関のうち６か所からの報告をもとに数値を算出しています。

２　Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは

Ａ群溶血レンサ球菌を原因とし、のどが痛くなる細菌感染症の代表的なものです。５歳をピークに幼児から学童期に多くみられますが、成人も感染することがあります。季節的には冬から初夏にかけて多くみられます。感染症法では定点把握疾患の５類感染症に定められています。

(1) 感染経路と予防方法

Ａ群溶血レンサ球菌にかかった人の咳やくしゃみを吸い込むことによって感染する場合（飛まつ感染）と、菌のついた手で口や鼻に触れることによって感染する場合（接触感染）があります。ヒトとヒトとの接触の機会が増加するときに起こりやすく、家庭、学校などの集団での感染も起こります。予防としては、患者との濃厚接触をさけることが最も重要であり、うがい、手洗いなどの一般的な予防法もあわせて行いましょう。ワクチンはありません。

(2) 主な症状

感染してから１～５日後に、３８度を超える発熱、のどの痛み、全身倦怠感が現れ、しばしば嘔吐を伴います。熱は３～５日で下がります。菌が産生する毒素によって、皮膚の発疹や舌の発赤が現れる猩紅熱（しょうこうねつ）という状態になることがあります。舌の発赤は、その見た目から「いちご舌」と言われます。他の合併症としては、菌の直接的な影響による中耳炎、肺炎、髄膜炎などがあります。

(3) 対応

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎に罹患したら、服薬や療養等について医師の指示に従い安静にして休養をとりましょう。